

II 調査結果

1 男女の役割や地位に関する意識について

問1 あなたは、次にあげる分野で、男女はどの程度平等になっていると思いますか。
(それぞれ○は一つ)

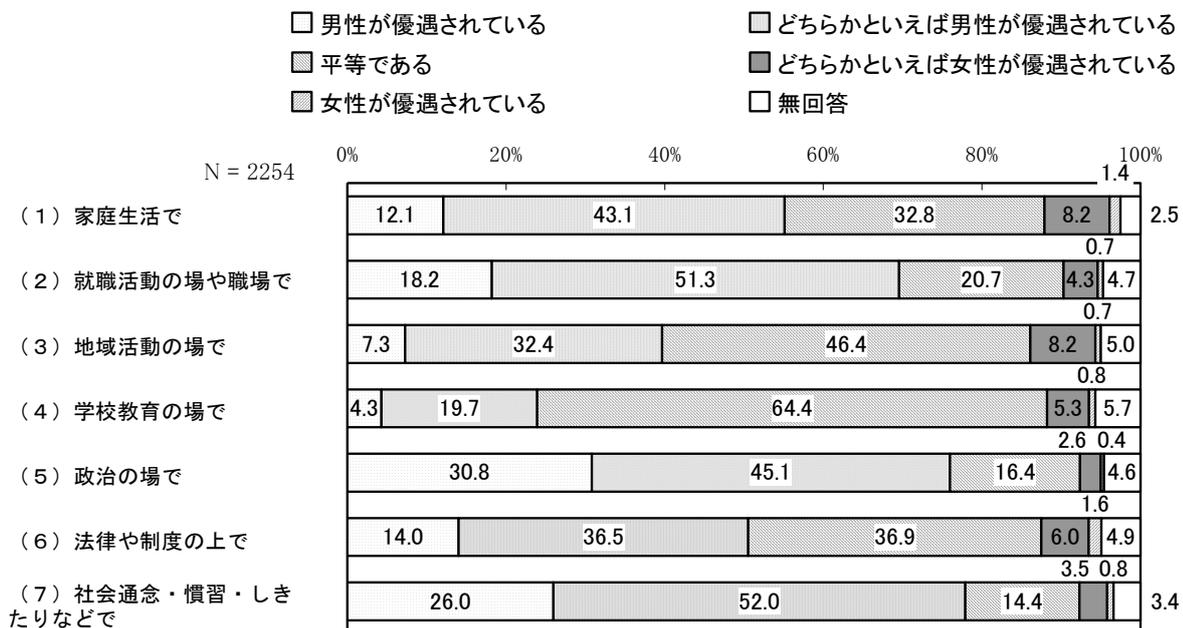
「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」をあわせた“男性が優遇されている”の割合が『(7) 社会通念・慣習・しきたりなどで』で78.0%と最も高く、次いで『(5) 政治の場で』で75.9%、『(2) 就職活動の場や職場で』で69.5%となっています。

性別で見ると、女性で“男性が優遇されている”の割合が『(5) 政治の場で』で83.7%と最も高く、次いで『(7) 社会通念・慣習・しきたりなどで』で83.2%、『(2) 就職活動の場や職場で』で75.5%となっています。男性で“男性が優遇されている”の割合が『(7) 社会通念・慣習・しきたりなどで』で71.2%と最も高く、次いで『(5) 政治の場で』で65.9%、『(2) 就職活動の場や職場で』で61.7%となっています。

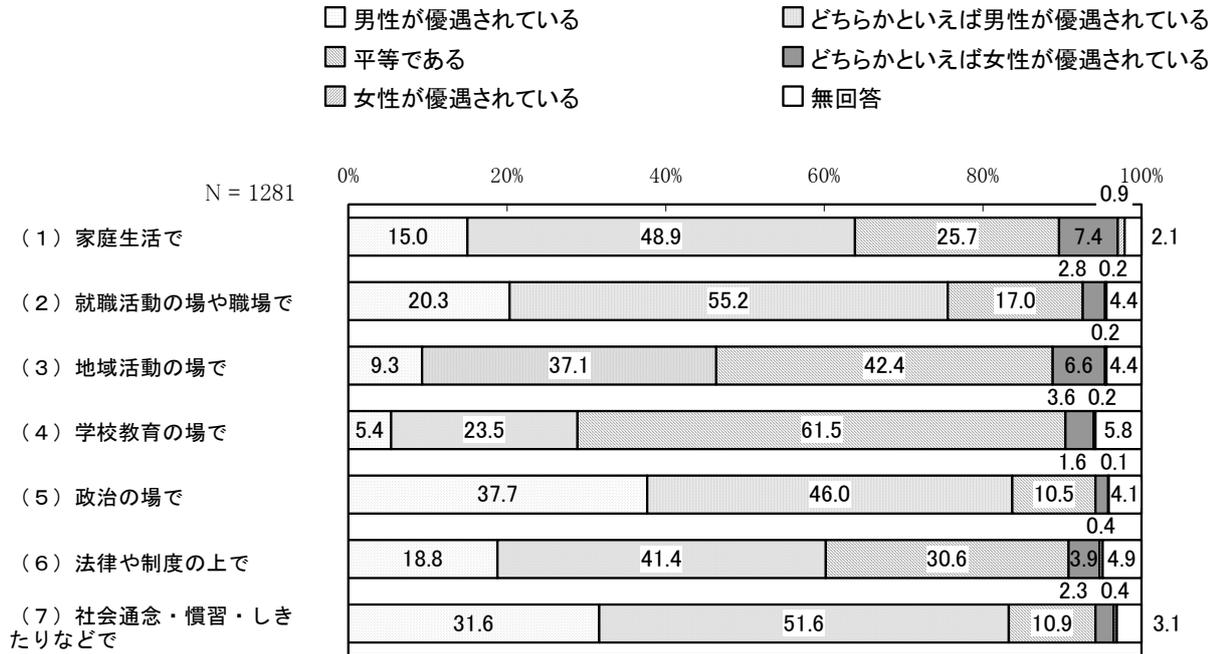
前回調査と比べると、女性で“男性が優遇されている”の割合が『(6) 法律や制度の上で』で6.2ポイント高くなっています。男性では、大きな差異はみられません。

全国調査と比べると、“男性が優遇されている”割合が『(1) 家庭生活上で』で12.0ポイント、『(2) 就職活動の場や職場で』で11.8ポイント、『(3) 地域活動の場で』で6.3ポイント、『(4) 学校教育の場で』で10.6ポイント、『(6) 法律や制度の上で』で12.3ポイント、『(7) 社会通念・慣習・しきたりなどで』で7.7ポイント高くなっています。

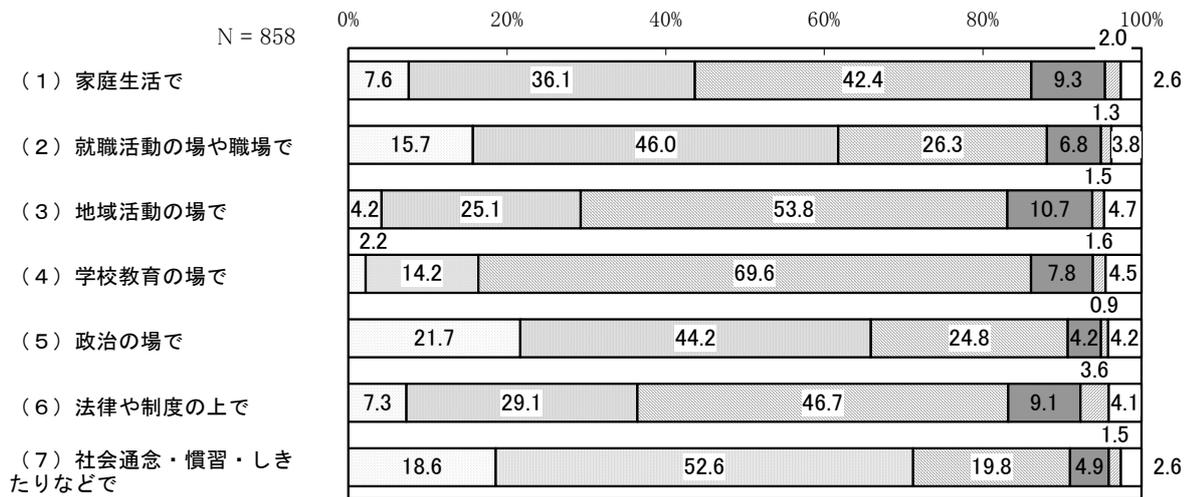
大阪府調査と比べると、“男性が優遇されている”の割合が『(2) 就職活動の場や職場で』で13.6ポイント、『(4) 学校教育の場で』で6.0ポイント高くなっています。女性では、“男性が優遇されている”の割合が『(2) 就職活動の場や職場で』で16.5ポイント、『(5) 政治の場で』で8.1ポイント、『(6) 法律や制度の上で』で7.1ポイント、『(3) 地域活動の場で』で6.6ポイント、『(4) 学校教育の場で』で6.4ポイント高くなっています。男性では“男性が優遇されている”の割合が『(2) 就職活動の場や職場で』で9.5ポイント高くなっています。



【女性】



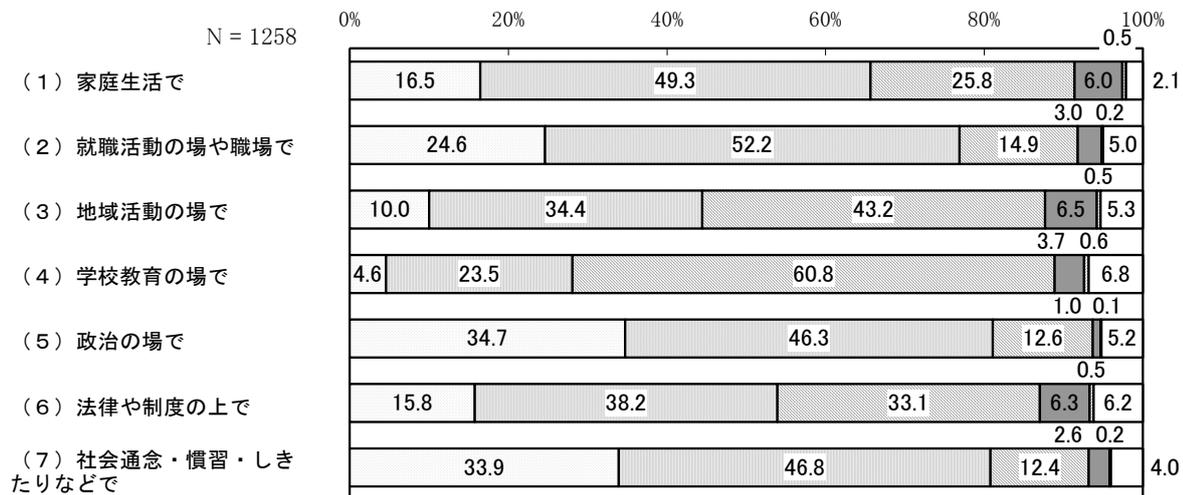
【男性】



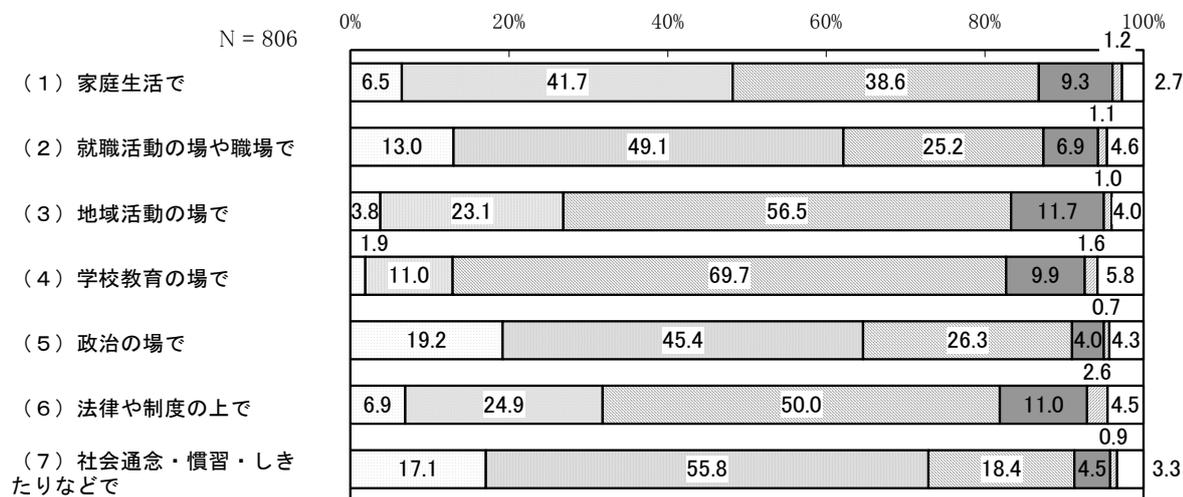
【前回調査（平成 22 年）】

【女性】

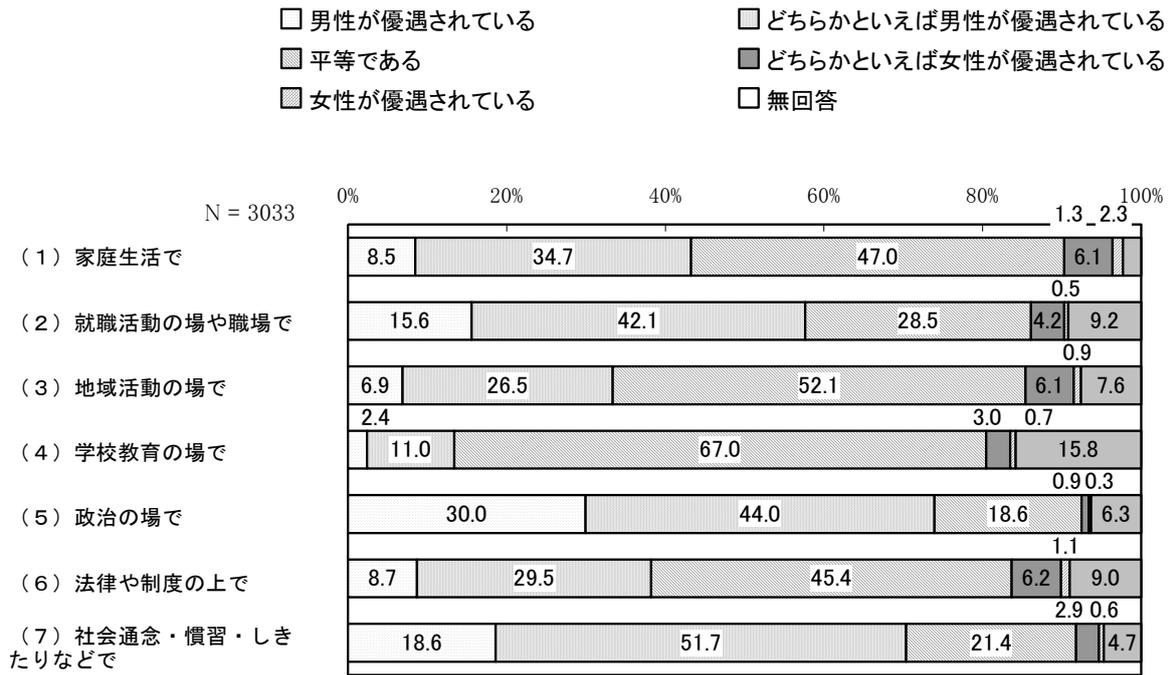
- 男性が優遇されている
- どちらかといえば男性が優遇されている
- 平等である
- どちらかといえば女性が優遇されている
- 女性が優遇されている
- 無回答



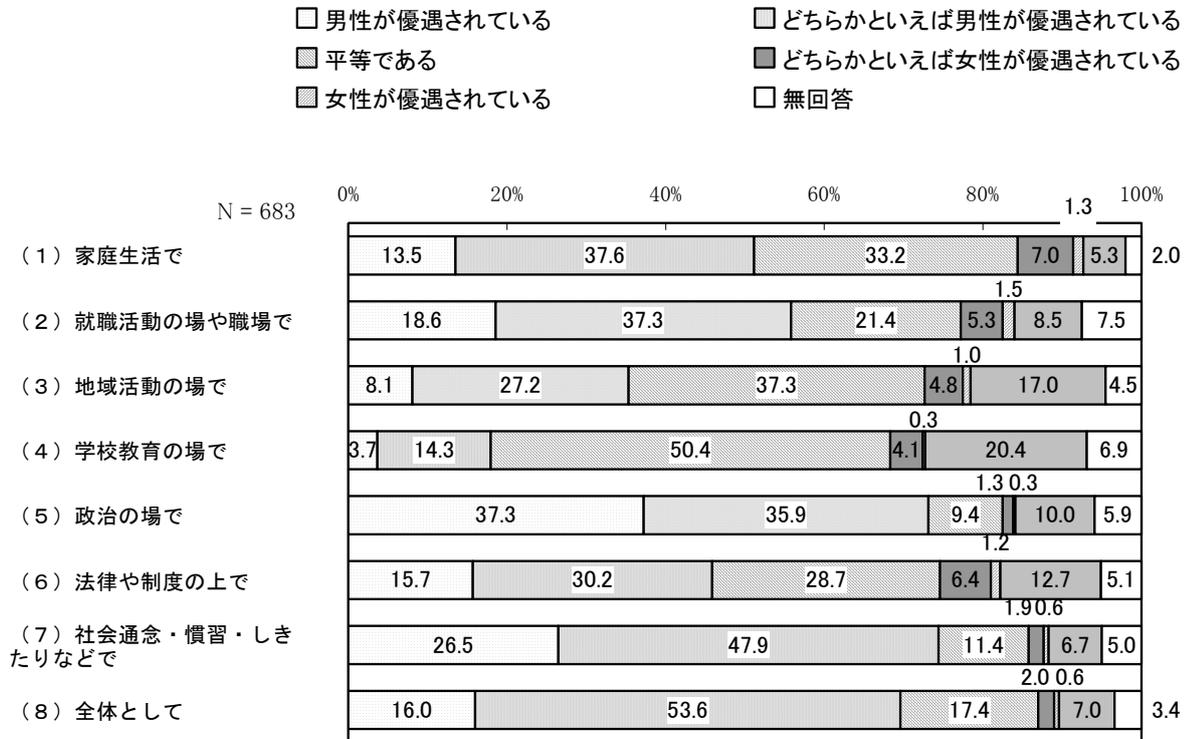
【男性】



【全国調査（女性の活躍推進に関する世論調査（平成26年））】



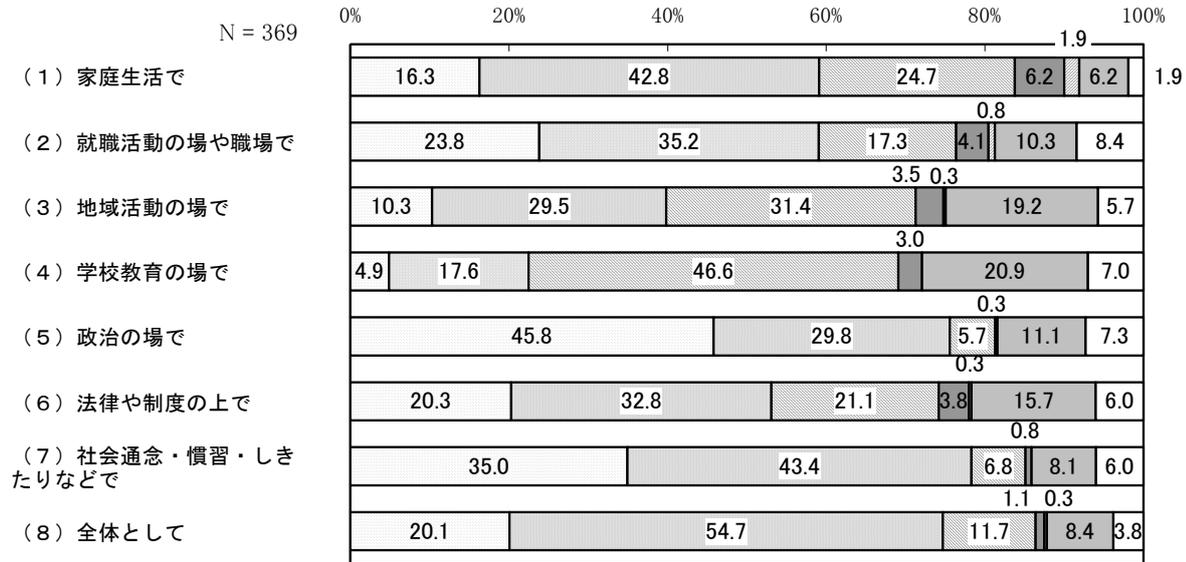
【大阪府調査（平成26年）】



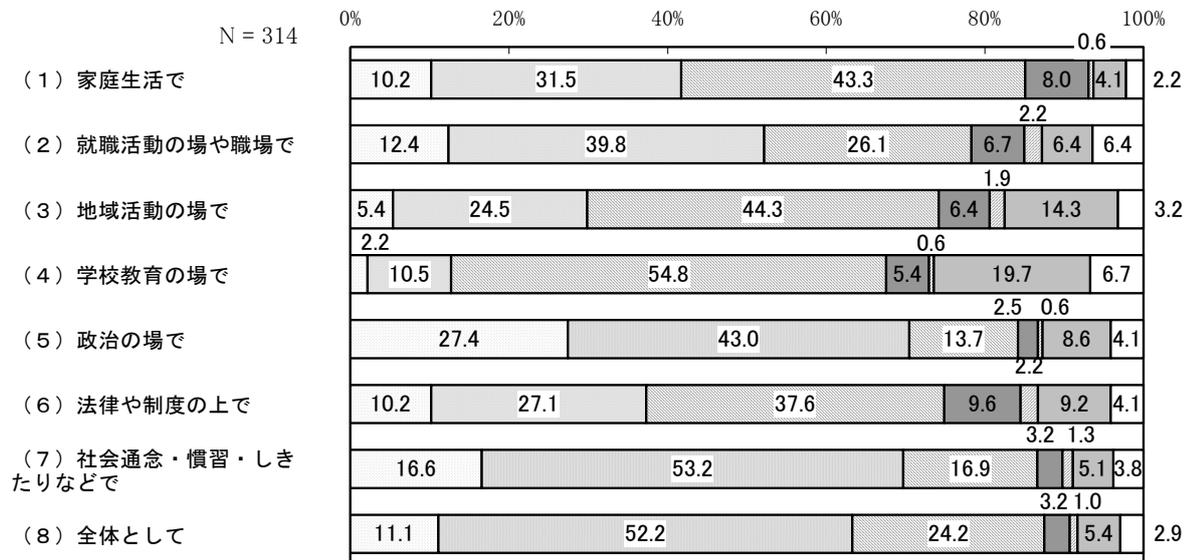
【大阪府調査（平成 26 年）】

【女性】

- 男性が優遇されている
- どちらかといえば男性が優遇されている
- 平等である
- どちらかといえば女性が優遇されている
- 女性が優遇されている
- 無回答

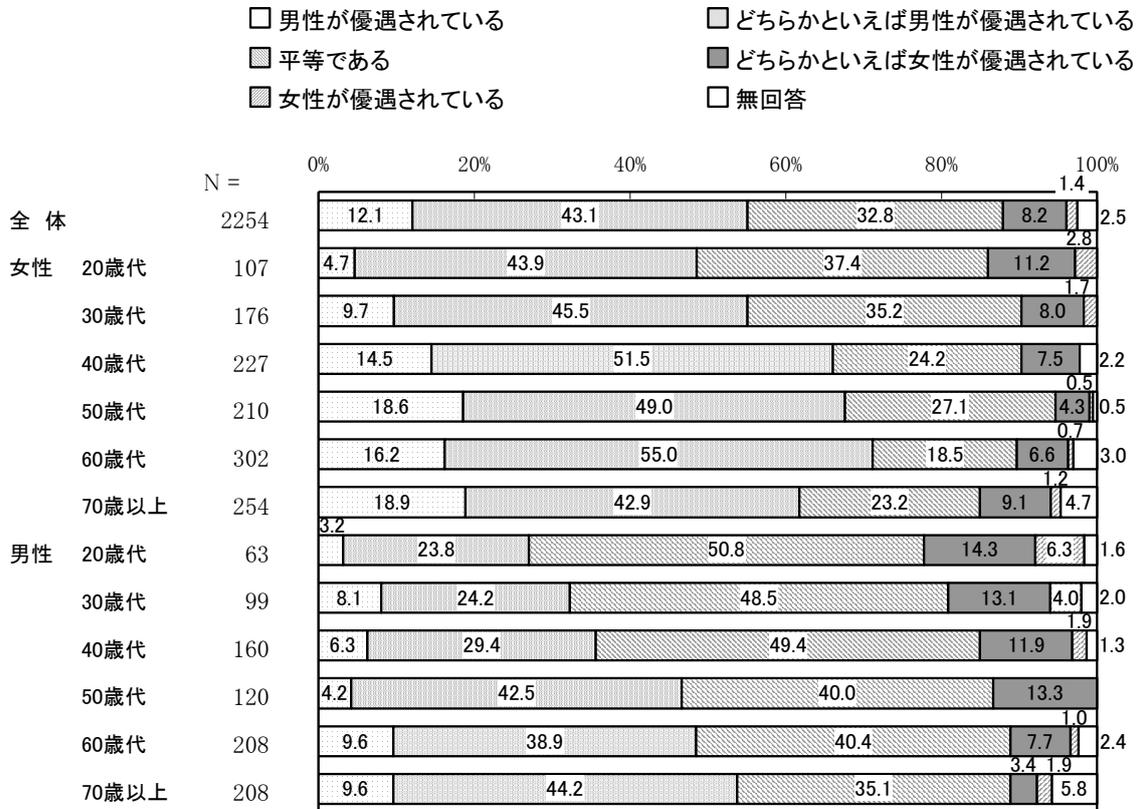


【男性】



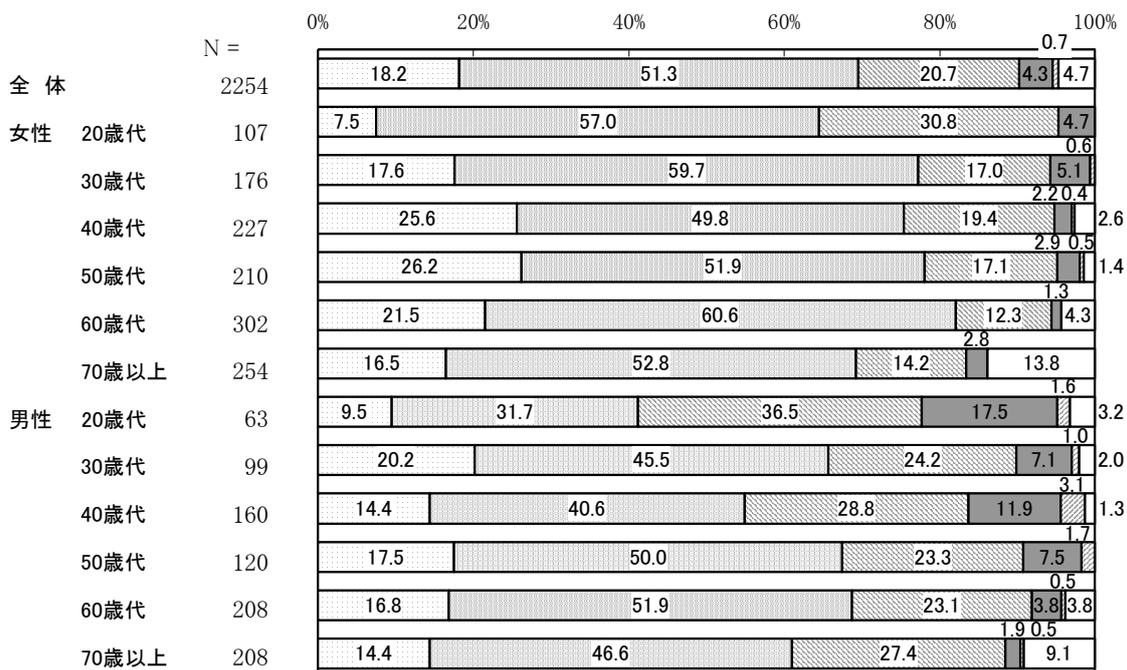
(1) 家庭生活で

性・年齢別で見ると、男性では年齢が低くなるにつれて“男性が優遇されている”の割合が低くなっています。



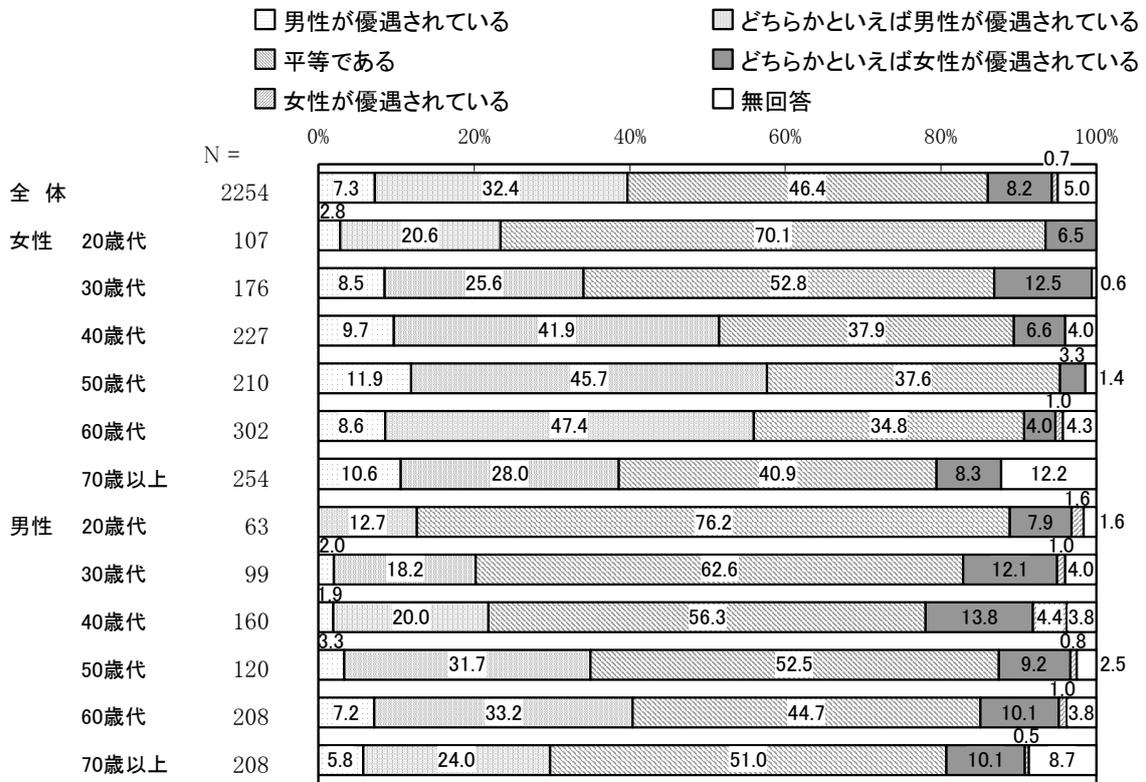
(2) 就職活動の場や職場で

性・年齢別で見ると、男女ともに20歳代で「平等である」の割合が高くなっています。



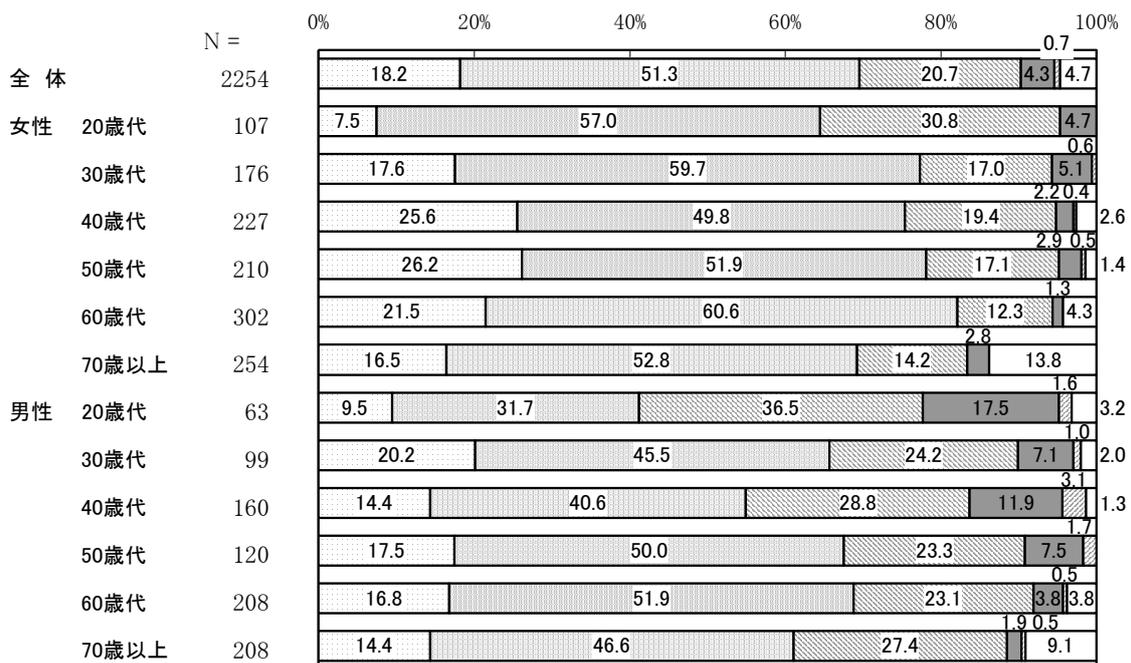
(3) 地域活動の場で

性・年齢別で見ると、男女ともに20歳代で「平等である」の割合が高くなっています。



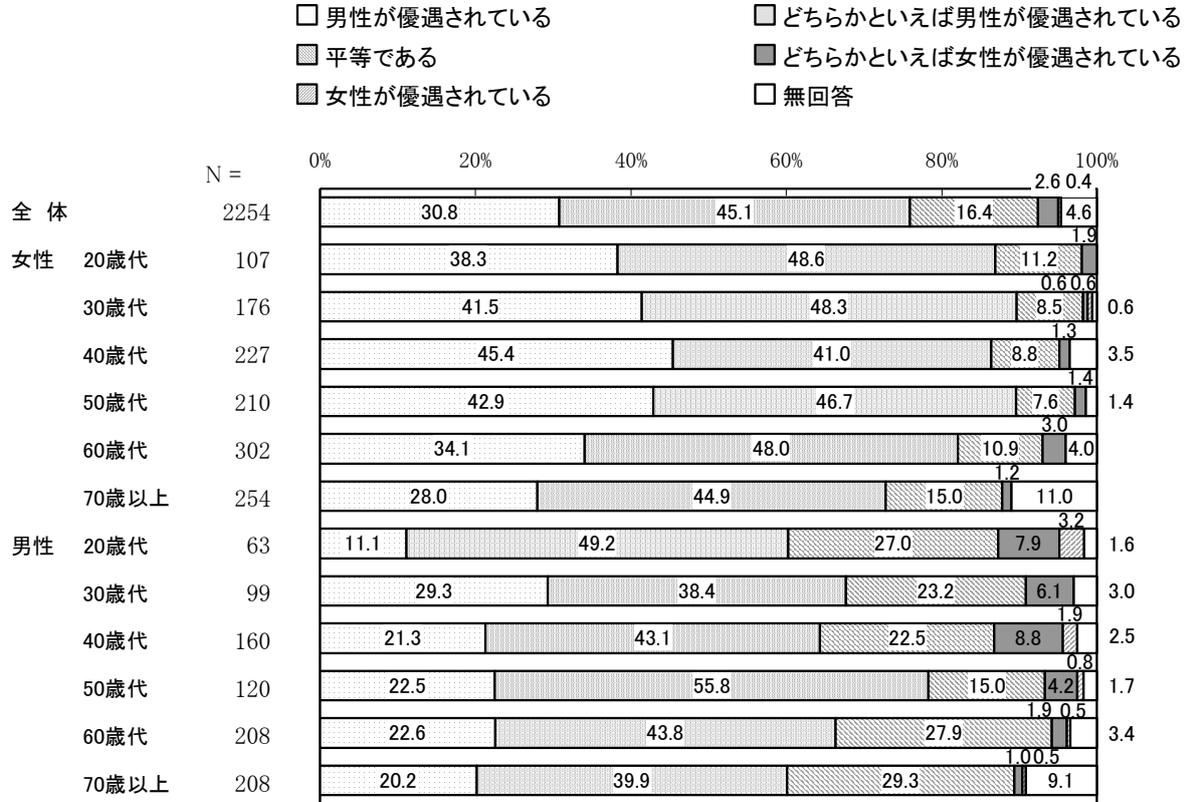
(4) 学校教育の場で

性・年齢別で見ると、女性では年齢が低くなるにつれて「平等である」の割合が高くなっています。



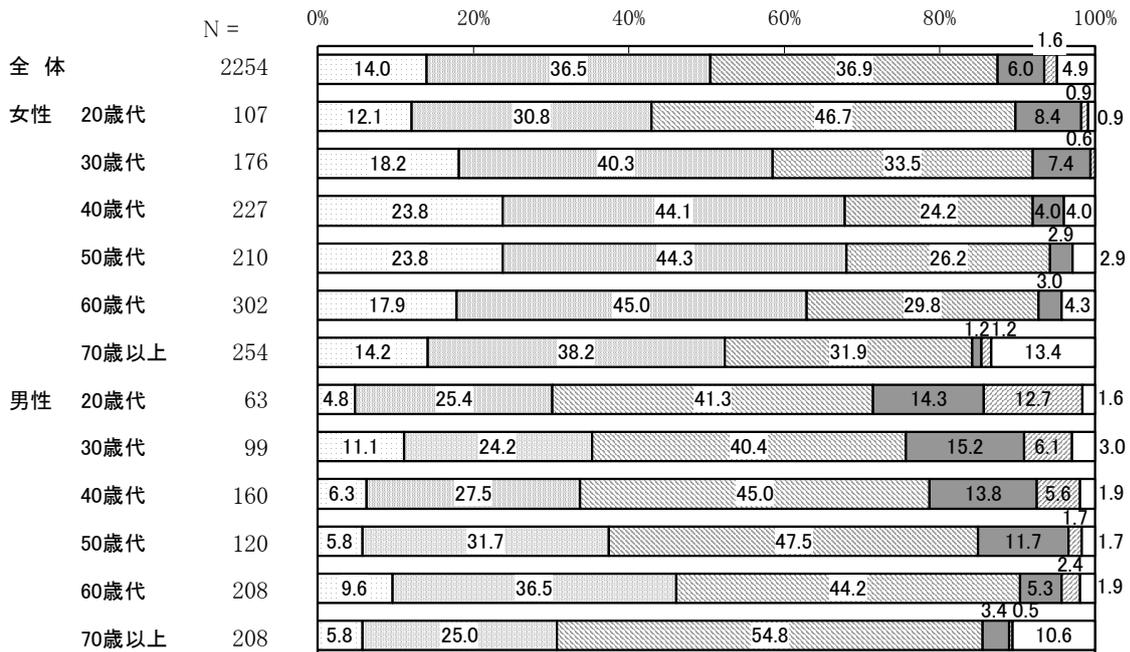
(5) 政治の場で

性・年齢別で見ると、他に比べ、女性の20歳代から50歳代で“男性が優遇されている”の割合が高くなっています。



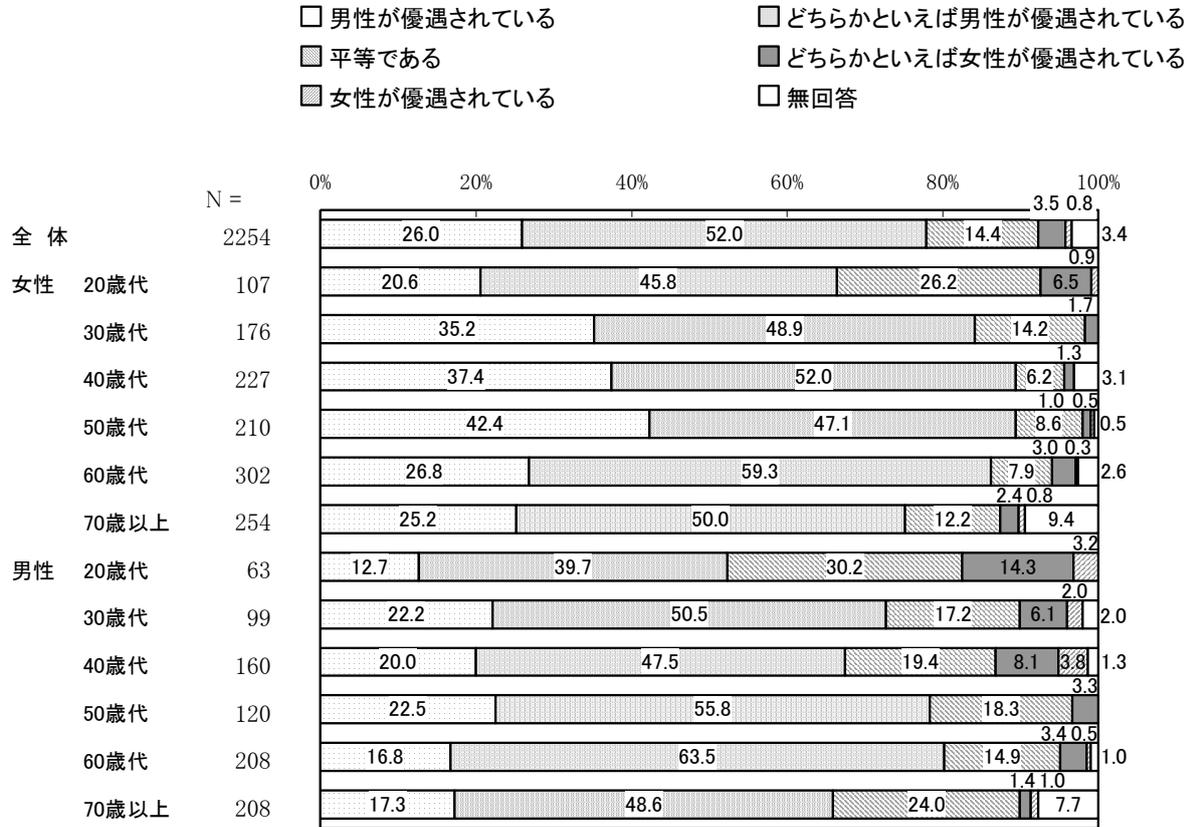
(6) 法律や制度の上で

性・年齢別で見ると、他に比べ、女性の20歳代、男性の70歳以上で「平等である」の割合が高くなっています。



(7) 社会通念・慣習・しきたりなどで

性・年齢別で見ると、他に比べ、女性の30歳代から60歳代で“男性が優遇されている”の割合が高くなっています。

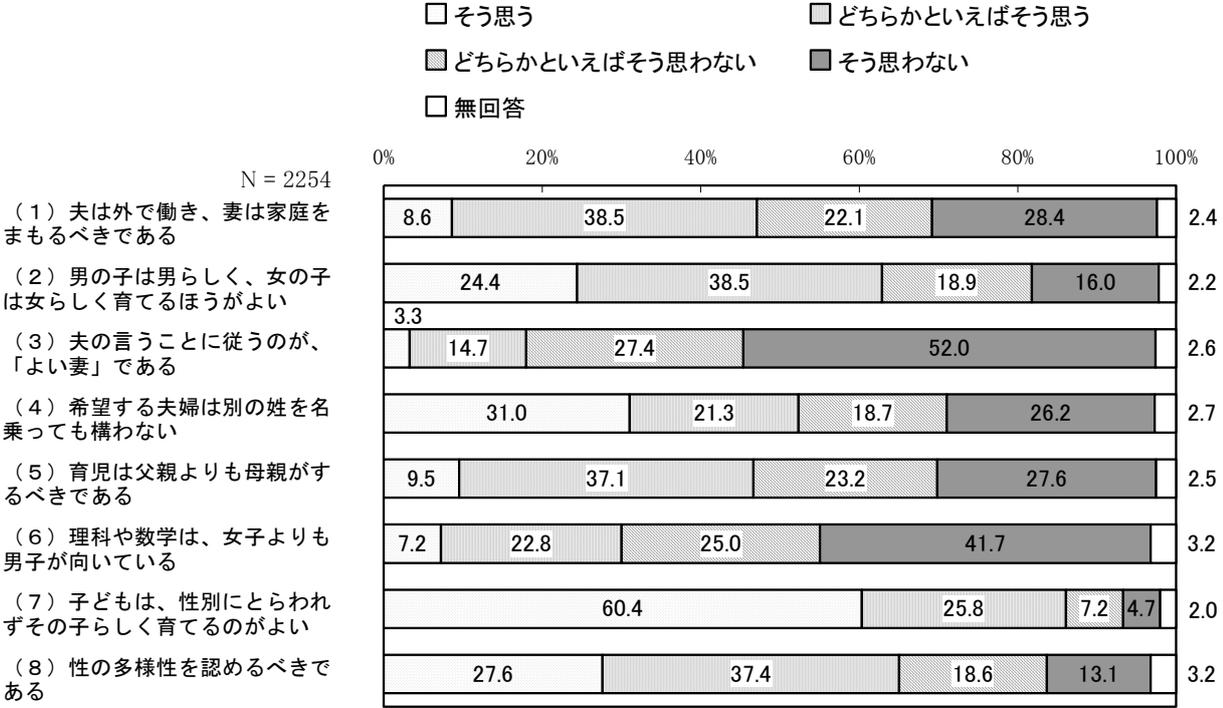


問2 次の考え方について、あなたはどのように思いますか。(それぞれ○は一つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が『(7) 子どもは、性別にとらわれずその子らしく育てるのがよい』で 86.2%と最も高く、次いで『(8) 性の多様性を認めるべきである』で 65.0%、『(2) 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるほうがよい』で 62.9%となっています。

性別でみると、女性で“そう思う”の割合が『(7) 子どもは、性別にとらわれずその子らしく育てるのがよい』で 90.4%と最も高く、次いで『(8) 性の多様性を認めるべきである』で 71.6%、『(2) 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるほうがよい』で 57.4%となっています。男性で“そう思う”の割合が『(7) 子どもは、性別にとらわれずその子らしく育てるのがよい』で 80.0%と最も高く、次いで『(2) 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるほうがよい』で 70.6%、『(8) 性の多様性を認めるべきである』で 57.0%となっています。

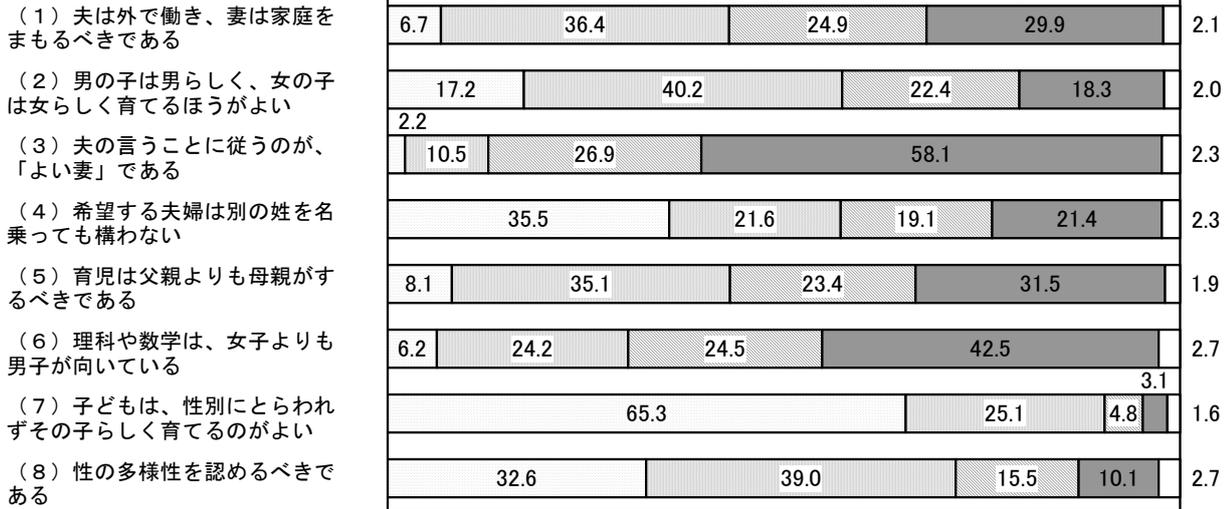
前回調査と比べると、女性で「賛成」と「どちらかといえば賛成」をあわせた“賛成”の割合に比べて今回調査の「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が『(5) 育児は父親よりも母親がするべきである』で 31.8 ポイント、『(1) 夫は外で働き、妻は家庭をまもるべきである』で 16.4 ポイント、『(2) 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるほうがよい』で 15.9 ポイント、『(6) 理科や数学は、女子よりも男子が向いている』で 15.1 ポイント、『(3) 夫の言うことに従うのが、「よい妻」である』で 8.0 ポイント低くなっています。男性では、『(4) 希望する夫婦は別の姓を名乗っても構わない』以外のすべての項目で“賛成”に比べて“そう思う”の割合が低くなっています。



【女性】

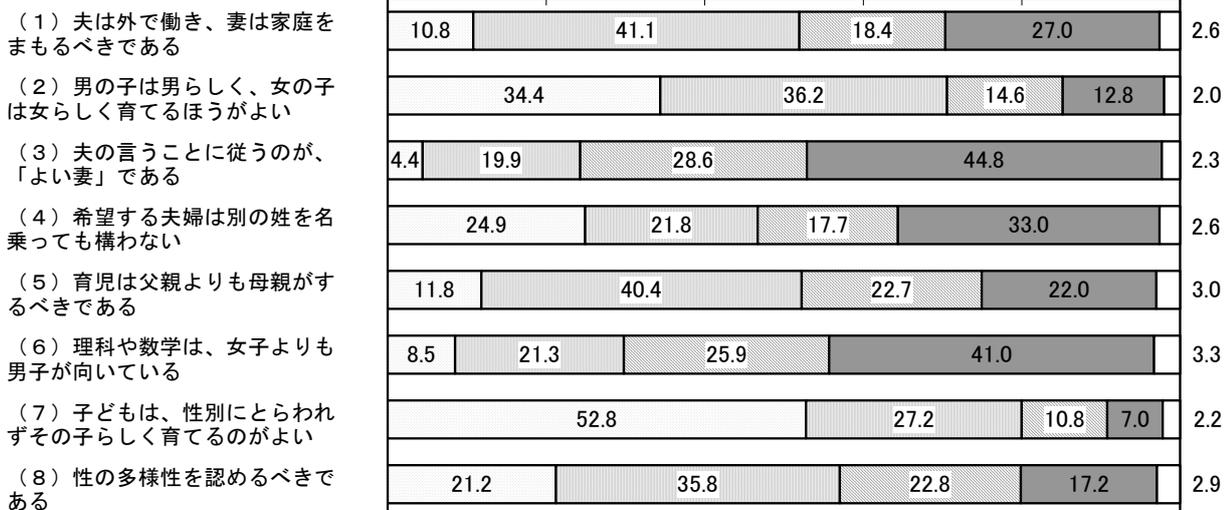
- そう思う どちらかといえばそう思う
 どちらかといえばそう思わない そう思わない
 無回答

N = 1281



【男性】

N = 858



【前回調査（平成 22 年）】

【女性】

- 賛成
- どちらかといえば賛成
- どちらかといえば反対
- 反対
- 無回答

N = 1258

夫は外で働き、妻は家庭をまもるべきである

男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるほうがよい

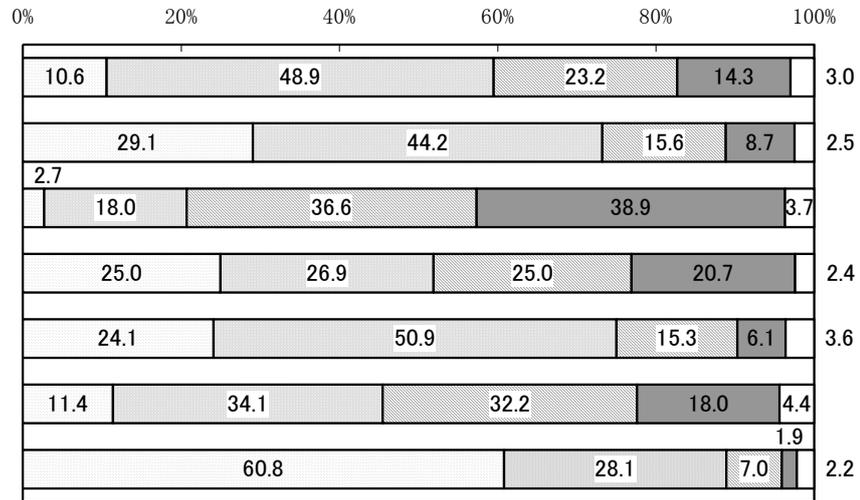
夫の言うことに従うのが、「よい妻」である

夫婦は別の姓を名乗っても構わない

父親よりも母親の方が育児に向いている

理数は女子よりも男子が向いている

子どもは、性別にとらわれずその子らしく育てるのがよい



【男性】

N = 806

夫は外で働き、妻は家庭をまもるべきである

男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるほうがよい

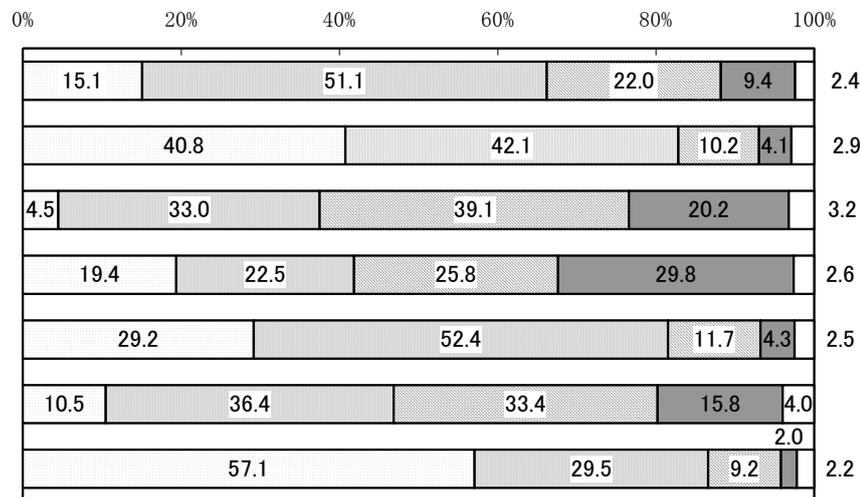
夫の言うことに従うのが、「よい妻」である

夫婦は別の姓を名乗っても構わない

父親よりも母親の方が育児に向いている

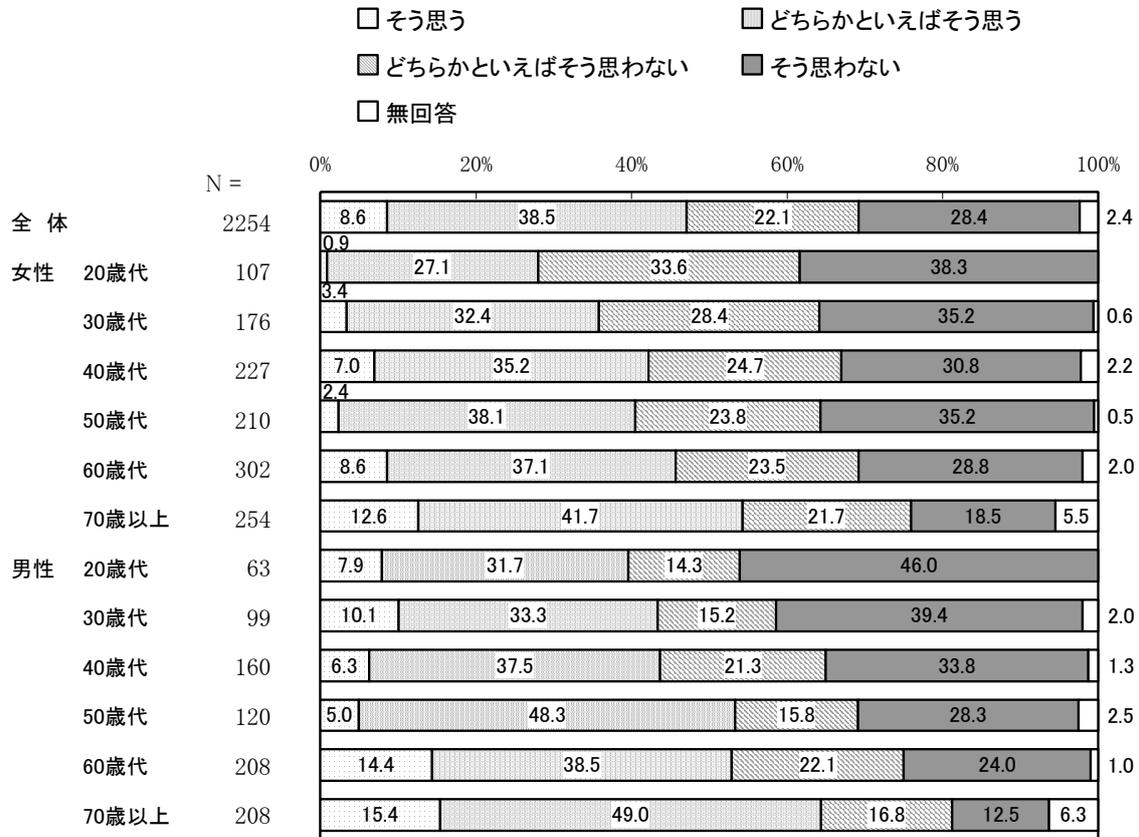
理数は女子よりも男子が向いている

子どもは、性別にとらわれずその子らしく育てるのがよい

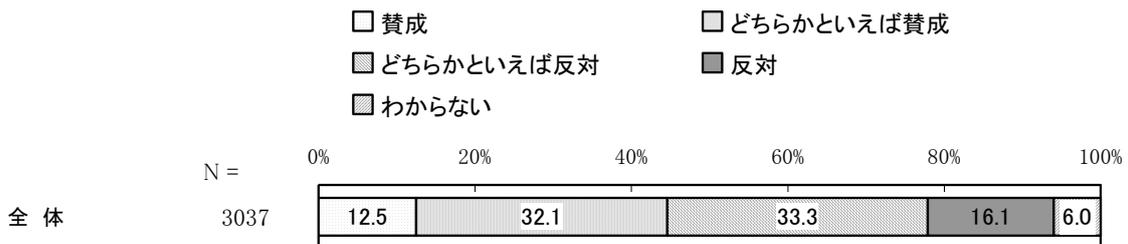


(1) 夫は外で働き、妻は家庭をまもるべきである

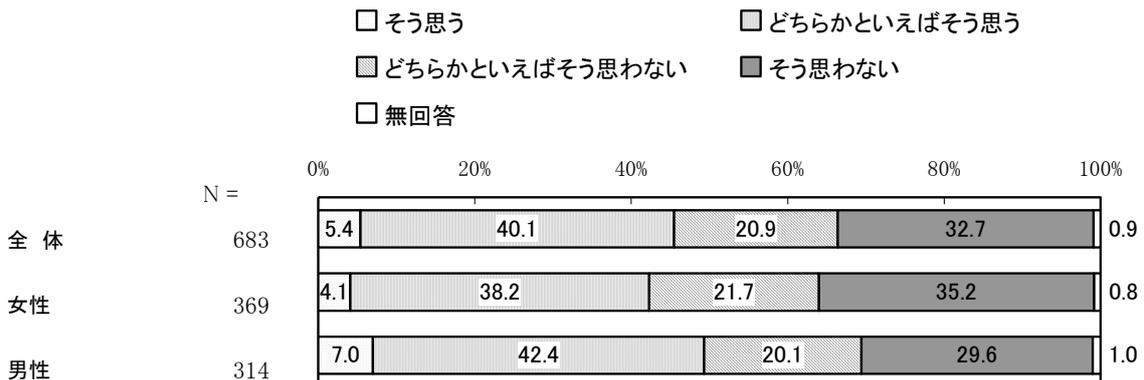
性・年齢別で見ると、男女ともに年齢が高くなるにつれて“そう思う”の割合が高くなる傾向がみられます。



【全国調査（女性の活躍推進に関する世論調査（平成26年））】

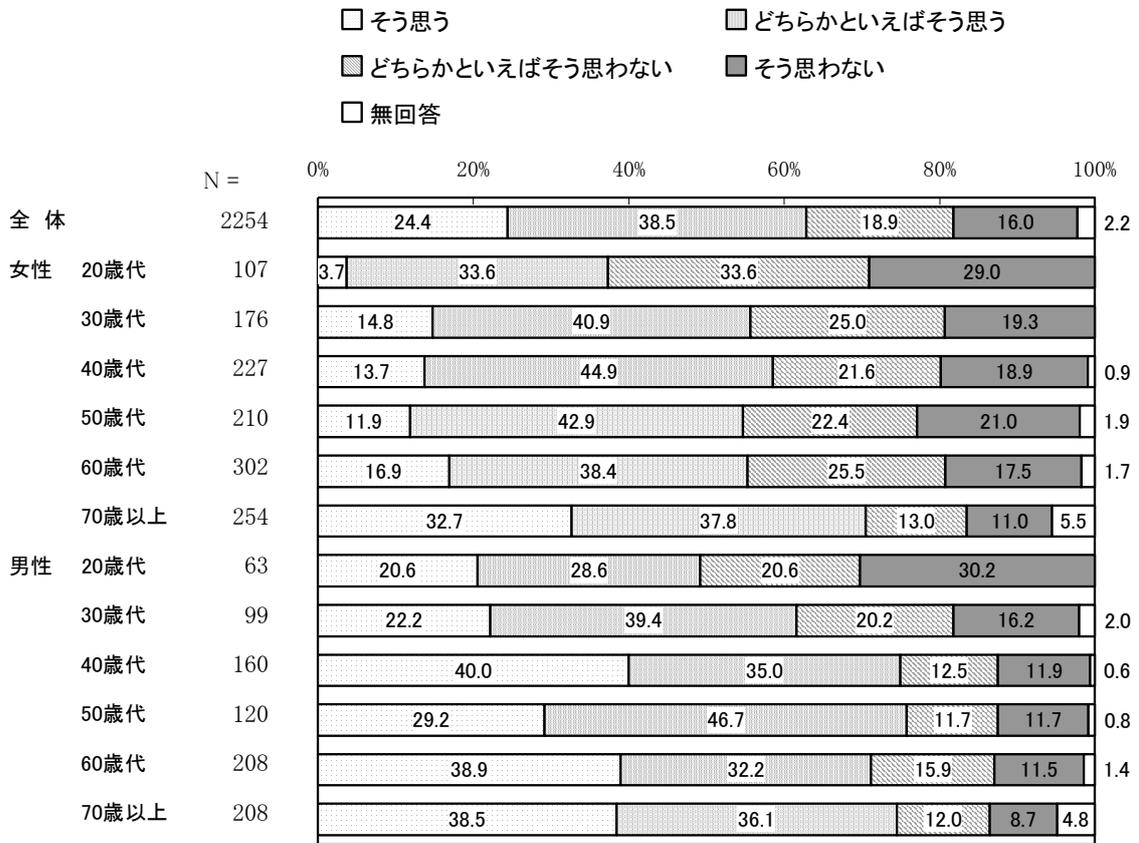


【大阪府調査（平成26年）】



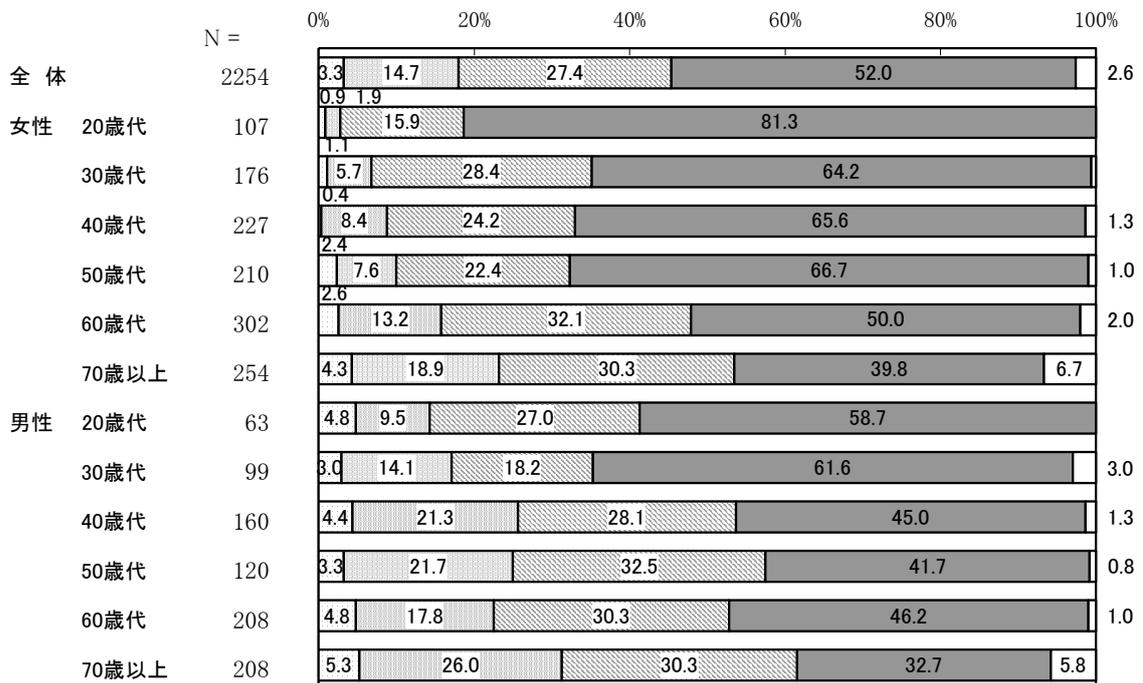
(2) 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるほうがよい

性・年齢別で見ると、男女ともに年齢が高くなるにつれて“そう思う”の割合が高くなる傾向がみられます。



(3) 夫の言うことに従うのが、「よい妻」である

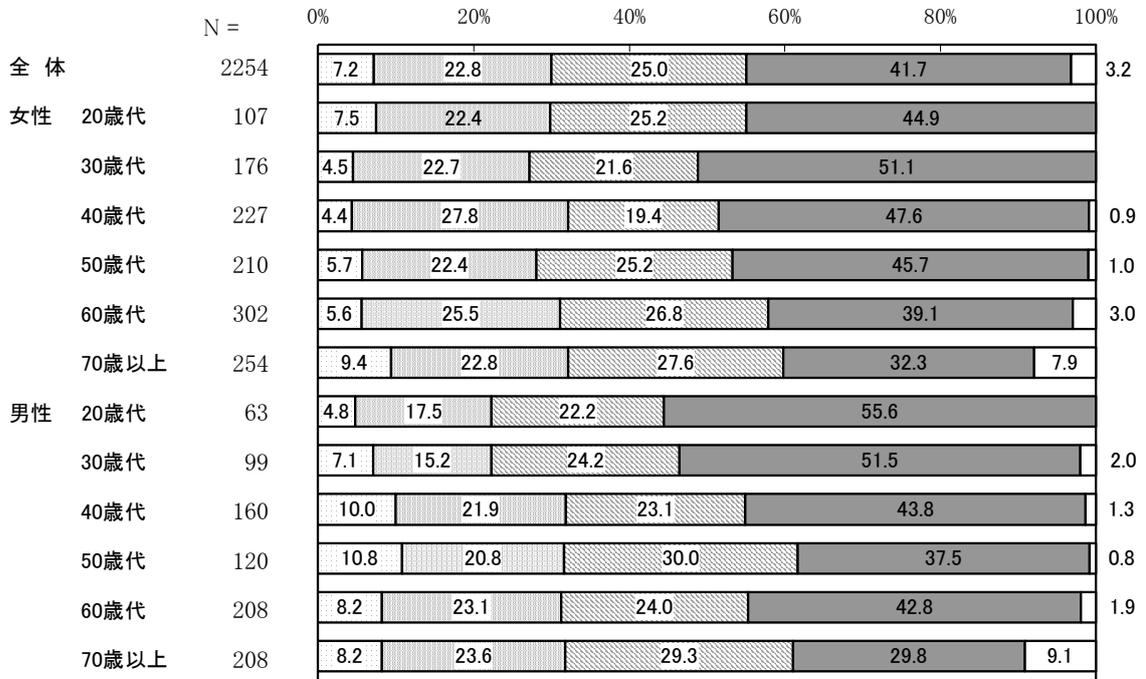
性・年齢別で見ると、男女ともに年齢が高くなるにつれて“そう思う”の割合が高くなる傾向がみられます。



(6) 理科や数学は、女子よりも男子が向いている

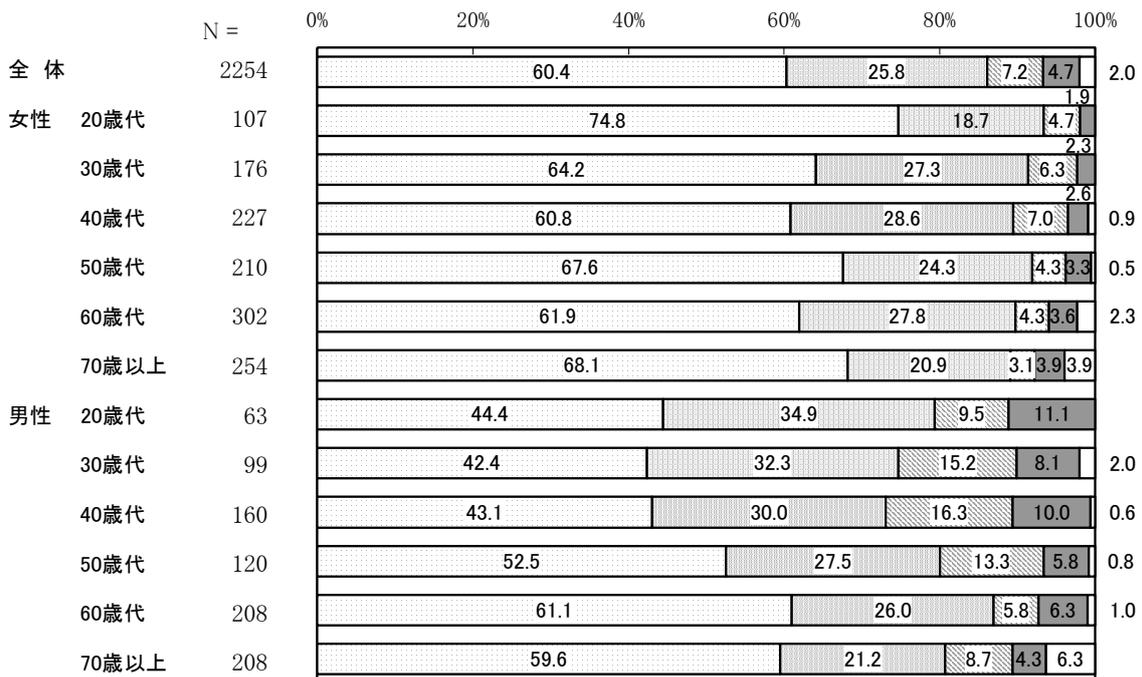
性・年齢別で見ると、男性の20歳代、30歳代で“そう思う”の割合が低くなっています。

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない
- 無回答



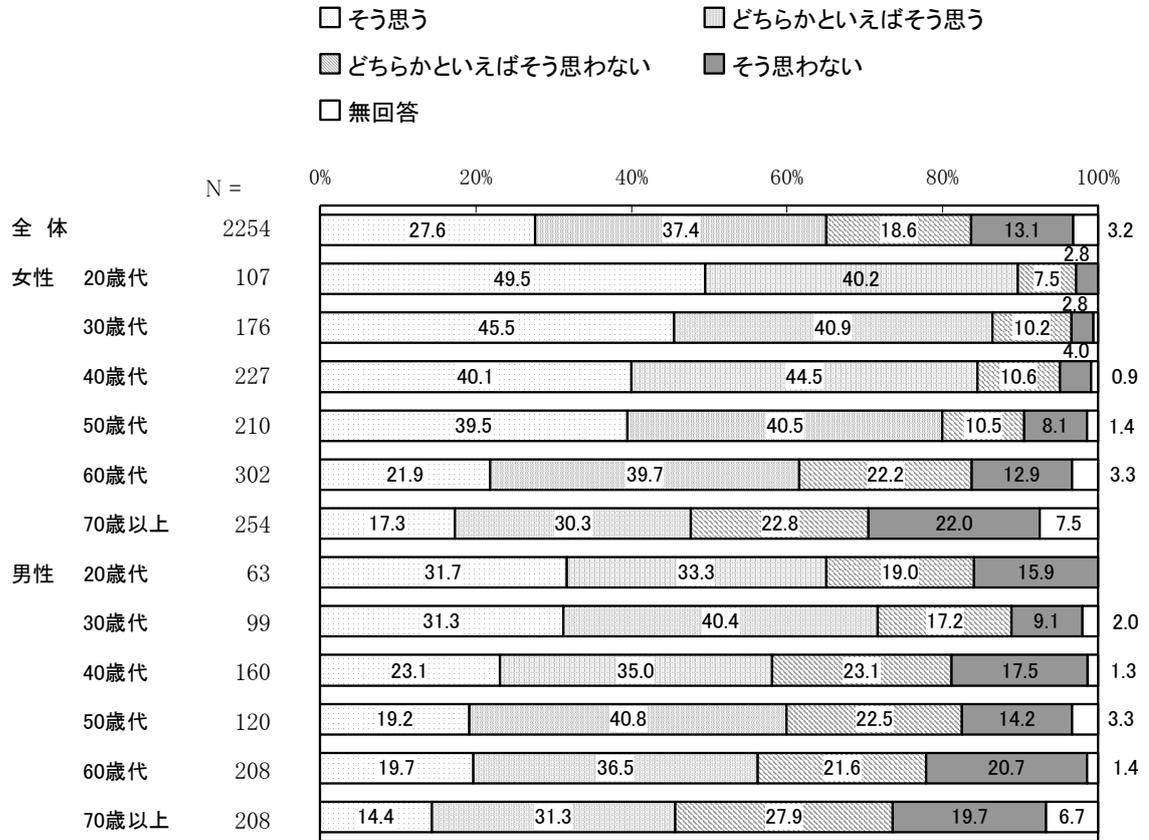
(7) 子どもは、性別にとらわれずその子らしく育てるのがよい

性・年齢別で見ると、各年代で男性より女性で“そう思う”の割合が高くなっています。



(8) 性の多様性を認めるべきである

性・年齢別で見ると、男女ともに年齢が低くなるにつれて“そう思う”の割合が高くなる傾向がみられます。

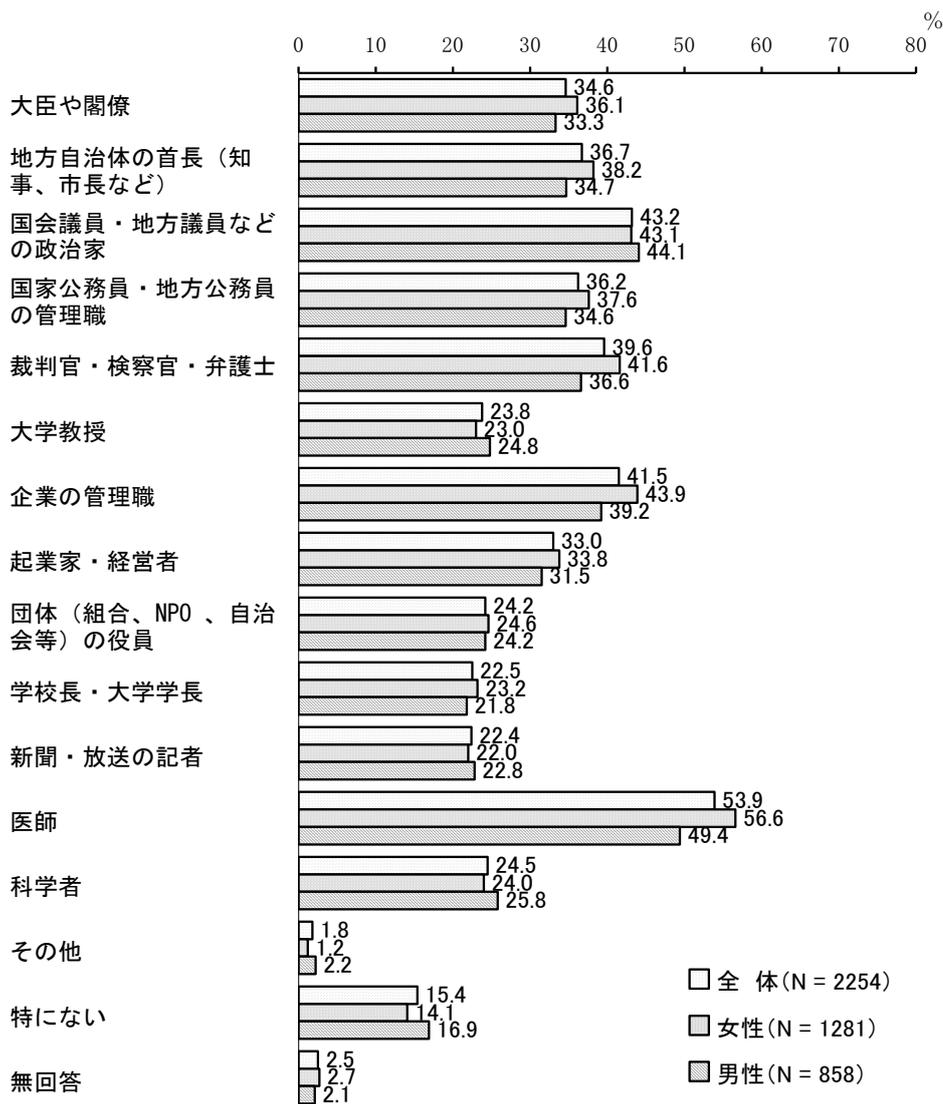


問3 あなたが、今後女性がもっと増えた方がよいと思う職業や役職はどれですか。
(〇はいくつでも)

「医師」の割合が53.9%と最も高く、次いで「国会議員・地方議員などの政治家」の割合が43.2%、「企業の管理職」の割合が41.5%となっています。

性別でみると、女性で「医師」の割合が高くなっています。

前回調査と比べると、「企業の管理職」で6.7ポイント高くなっています。女性ででは、「企業の管理職」で7.7ポイント、「国家公務員・地方公務員の管理職」で5.4ポイント高くなっています。男性では、「国会議員・地方議員などの政治家」で5.4ポイント高くなっています。



【前回調査（平成 22 年）】

